

2018 Vol. 6
Border Crossings
The Journal of Japanese-Language Literature Studies

跨境 第6号 日本語文学研究

エッセイ 跨境の言葉

多和田葉子 多言語世界の一角で

エドワード・マック ト라우マとしての流転

中沢 けい 日韓文学シンポジウムのことから

言語圏とディアスポラ文学

[基調講演] Faye Yuan Kleeman Intertwining Tongues

: Bilingualism and Hybrid Texts in Contemporary Japanese Literature

単 援 朝 日中女性作家が描いた中国残留孤児像

下 岡 友 加 戦後台湾の日本語文学

坂元さおり 船戸与一『満州国演義』試論

呉 佩 軍 竹内正一が描いたハルビンの都市表象

呉 佩 珍 アイルランド文学とフォルモサの邂逅

永 井 真 平 折口信夫の「朝鮮人」表象

一般論文

朱 田 云 ある少年の逆行

張 玉 1920年代の中国における黒岩涙香『野の花』の受容

清 松 大 <従軍記>の拡散と変容

奥村華子 『にあんちゃん』論

岡 英 里 奈 方法としての「私」語り

研究資料

李 京 珪 戦後日本の新聞雑誌メディアの在日朝鮮人関連資料

呉 佩 軍 『偽満洲国文芸大事記』について

謝 惠 貞 『台湾日日新報』デジタル版の利用について

フォーラム参加記

孫 知 延 「東アジアと同時代日本語文学フォーラム」2017ソウル大会+次世代フォーラムを傍聴して